

R 元年度 校内研究・研修

I 研究主題

情報を読み取る力を育てる指導のあり方

～国語科の説明的文章をを中心に～

II 主題設定の理由

(1) 現代的な課題から

情報化の進展に伴い、子どもたちの言葉を取り巻く環境は変化している。

新指導要領の国語科の改訂の中に「情報の扱いに関する指導の改善・充実」として以下のような文章が載っている。

急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係をわかりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。いっぽう、中央審議会答申において「教科書の文章を読み解けていないとの調査結果もあるところであり、文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすることは喫緊の課題である。」と指摘されているところである。

話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることが、話や文章を正確に理解することにつながり、また、自分の持つ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが、話や文章で適切に表現することにつながるため、このような情報の扱いに関する「知識及び技能」は国語科において育成すべき重要な資質・能力の一つである。

(2) 本校の学校教育目標から

本校の学校教育目標は「～小さな学校で、大きな夢を育む～大志を胸に、やさしく・かしこく・たくましく生きる神余っ子の育成」である。

【目指す教師像】

- 子どもの良さに気づける教師
- 愛情と熱意にあふれた活力のある教師
- 高いプロ意識を持ち、授業改善・行事改革に励む教師

【目指す子ども像】

- 自分も友達も大切にできる子
- 意欲をもって生き生き学ぶ子
- 健康で丈夫な体を持つ子
- 夢の実現に力強く挑戦する子

上記の【教師像】【子ども像】に向けて、教師同士で学び合う機会を意図的に設けていくとともに、本研究主題を設定することで、意欲を持って生き活きと学ぶ児童を育てていきたい。

(3) 昨年度の研究および児童の実態から

一昨年度から「伝え合う力を育てる」というテーマで、国語科を中心に取り組んできた。昨年度は「対話を通して自分の考えを深められる子」という子ども像を掲げて授業実践をし、全校朝の会のスピーチでも各学年で工夫して発表の場を持った。これらの取り組みによって子どもたちの発表の仕方は向上し、話す側と聞く側のやり取りから徐々に対話に広がりが出てくるようになった。

しかし、文章を読んで理解する段階で全体や構成を捉える力、いくつかの情報を読み取って整理する力が弱いために、自分の考えを形成することが難しい子がいるという反省も出ている。自分の考えを持つためには、まず読み取る力をつけることが必要である。

昨年度ははじめに行った東京書籍の学力テストの結果を見ると数字上では読解力は全国平均を上まわっているが、人数が少ないため本校としての傾向として一概に言えない。全国学力状況調査についても同様である。ただし国語B問題の中で正答率が他に比べて低かったのは「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」

を趣旨とした設問である。また記述式の問題で正答率が低かった設問はどちらも二つの条件を満たして書けていないためであった。質問の趣旨が読み取れていなかったか、条件を整理できなかったためであると思われる。

以上のことから、今年度は、「情報を読み取る力を育てる指導のあり方」を研究していきたい。

III 研究目標

説明的文章の中から必要な情報を目的に応じて読み取ることができる子どもを育成するための指導のあり方を実践を通して明らかにする。

IV 研究仮説

国語科の説明的文章の学習において、方法や手順を示してあげれば、目的に応じて必要な情報を読み取れるようになるであろう。

V 研究内容

- ① 情報を読み取るための方法や手順についての理論研修
- ② 教科書の説明的文章の教材研究
- ③ 全国学力状況調査・東書学力テストの分析、活用
- ④ 一人一実践の授業研究
- ⑤ 来年度の教育課程に向けての各教科の年間計画・教育計画の作成

VI 研究の実際

理論研究

(1) 「小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 国語編」より説明的文章でつきたい力

	低学年	中学年	高学年
構造と内容の把握	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
精査・解釈	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
考えの形成	文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
共有	文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。


(2) 説明的文章を読むときの方法または手順

本校において定めた方法または手順は以下の通りである。

低 学 年	1	音読する ○文章をスラスラと読めるようにする。
	2	形式段落に番号をつける ○1字下がっているところを目安に①から番号をふる。
	3	問いと答えを見つける ○「～でしょうか。」「～のです。」文末表現に着目させる。
	4	イラスト・写真・図表と文(段落)とを対応させる ○線で結ぶ
	5	キーワードを探す ○題や繰り返し使われている言葉に傍線を引く。 ○順序を表す言葉(時間・事柄など)に傍線を引く。
中 学 年	6	各段落を要約する ○あらすじを20字以内にまとめる→小見出し(10字以内)
	7	接続語から段落相互の関係をつかむ→接続後を丸で囲む ○特に、逆接の接続詞と換言の接続詞には注意！ 次にくる文章の予測ができるようになる。 逆接：しかし・だが・ところが・けれども・等 ⇒ 筆者の主張 換言：つまり・ようするに・すなわち・等 ⇒ 段落の要約 理由：なぜなら・というのは・等 ⇒ 詳しい説明 例示：たとえば・いわば・等 ⇒ 具体例
	8	指示語が指すものを見つける ○指示語はほぼ前にあるものを指す。指示語より前から探させる。 話し手からの距離の違いが「これ」、「それ」、「あれ」。 単数と複数も意識させる。 指示語の指し示すものは名詞の形で答えるので文章の終わりを体言化する。 事実と感想、意見に分ける
高 学 年	9	文章構成をつかむ ○「全体→部分」「部分→全体」「始め・中・終わり」頭括型、尾括型、双括型
	10	グラフから原因・結果を読み取る ○タイトル(表題)、縦軸(単位)、横軸(単位)、出典、 変化(減少/増加/減少して増加/増加して減少/変化なし)
	11	文章全体の要旨 ○何について述べているのかを30字以内にまとめる キーワードやキーセンテンスを使う 指示語がキーワードを指すことが多い
	12	筆者の主張を読み取る ○文末表現から事実と意見を分ける ○事実を時系列に並べる
	13	筆者の主張に対する自分の意見を表現する

VII 研修のあしあと

期 日			内 容	備考	主な行事
4	1 5	月	国語の読解問題を解くポイント (昨年度全国学テB問題を使って) 特別支援関係 講師の要請 ↓		
	2 5	木	児童の様子観察後それを受けて 支援の仕方について研修する。		
5	9	木	各教科の教育計画等最終確認 (市教委訪問前)	体操研修 (芳賀先生 庄司先生)	市教委訪問 (13月) 運動会 (18土) 東書テスト (24金)
	3 0	木	研究推進委員会 全国学力状況調査の問題を解く		
6	6	木	今年度の研究テーマ 具体的な研修計画について		プール掃除 (1土) Q Uテスト実施 (10月～14金) 体操教室 (12水)
	1 3	木	資料を持ち寄っての理論研修		
	2 0	木	学力向上コーディネーター伊藤先生のお話を聞く		
	2 7	木	説明的文章の理論研修		
7	1 9	金	業者学力検査の結果分析 (面談に向けて) 2学期以降の研修の見通し (授業研の単元決定) 指導案の形式について 【夏休み中に指導案作成に取りかかる】		三校交流会 (5金) 一覧表提出 (11木) 終業式 (19木)
	2 2	月	保健エピペン研修 (午前中)		
8 夏休み	2 0	火	教育課程研修の報告会 第1回授業研 (9月12日) の指導案検討 (御子神・芳賀)		面談 (22月23火) 教育課程 (1木) 一斉研修 (2金) 教研集会 (21水)
9	5	木	第2回授業研 (10月2日) の指導案検討 (鈴木・中田)		体験発表会 (5木)
	1 1	水	第1回国語科授業研 (要請訪問 鈴木加奈子指導主事) 4校時4年御子神 5校時5年芳賀		
1 0	2	水	第2回国語科授業研 (要請訪問 鈴木加奈子指導主事) 4校時1年鈴木 5校時2年中田 ※台風による休校や教育課程の時間割の変更等で要請訪問は2回とも中止 できる範囲で校内での相互参観を実施		

10	3	木	特別支援関係 児童の様子観察後それを受けて 支援の仕方について研修する。		
11	7	木	パソコン研修 ラインズeライブラリ タブレットの使用法		一斉研（6火） 子ども音楽会（9金） かえでまつり
	14	木	第3回授業研（11月29日）の 指導案検討		
	29	金	第3回授業研 （要請訪問 鈴木照子指導主事） 5又は6校時かえで学級 庄司		
12	12	木	授業実践の振り返り	書写研修 （地域の 書家を招 いて）	キャリア教育高学年 三校交流会 館山小交流会
	19	木			
1			次年度教育課程に向けての作成 各教科の年間計画		
2			道徳評価研修 次年度の方向性		一斉研（7金） 県学力検査 （20木 21金） 6年生を送る会 （
3					